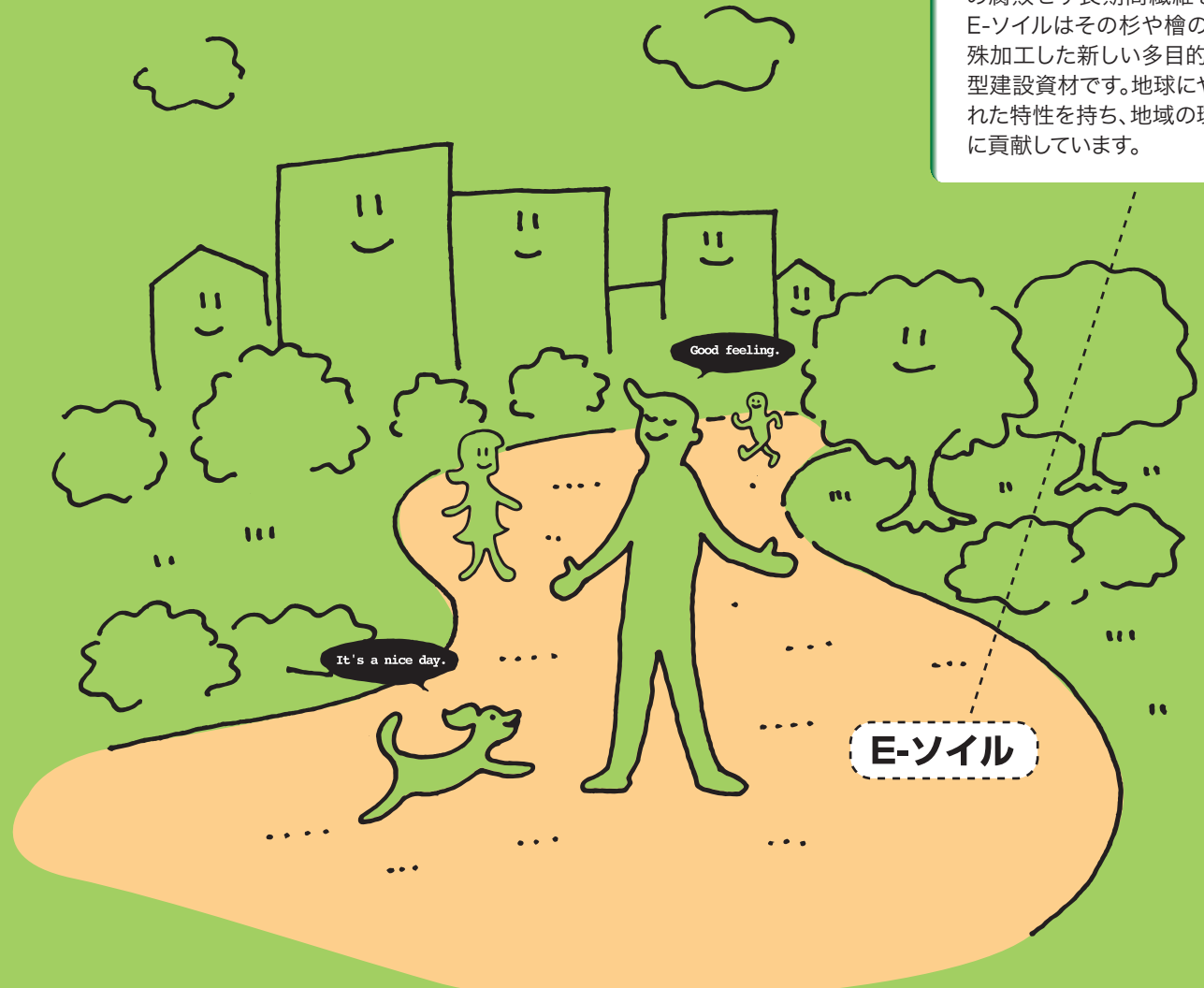


「人と街にやさしい・・・。」
 と思ったら、E-ソイル。

^[E-ソイル]
E-soil

杉・檜の樹皮から生まれた天然資材

杉や檜の樹皮には殺菌力があるため腐敗せず長期間繊維を保ちます。E-ソイルはその杉や檜の樹皮を特殊加工した新しい多目的環境保全型建設資材です。地球にやさしい優れた特性を持ち、地域の環境づくりに貢献しています。



<http://www.japan-ryokka.co.jp>



自然と調和し景観に優しくとけ込む、安全面も充実した樹皮の舗装です。

ソイルリフレッシュ
 人・地域・地球にやさしい
 エコリサイクル商品です。

^[E-ソイル]
E-soil **大林式 樹皮舗装工法**

ナチュラルパース

ソイルリフレッシュ
 環境にやさしいエコタイプの新工法です。

大林式樹皮舗装工法(ナチュラルパース)のソフトな路面の仕上がりは、ジョギングや転倒時の衝撃も緩和します。ヒートアイランド現象も、効果的に軽減します。

特許審査請求中

地球にやさしい、循環型社会を目指して



JAPAN緑化



自然と調和し景観に優しくとけ込む、安全面も充実した樹皮の舗装です。

ソイルリフレッシュ
環境にやさしい
エコタイプの新工法です。

E-soil 大林式 樹皮舗装工法

ナチュラルパース

ナチュラルパースとは、E-ソイルを用いた自然な風合いの樹皮舗装材です。間伐材や廃棄材をチップにしたものを使用したウッドチップ舗装は多くありますが、杉・檜の樹皮を使用した樹皮舗装は少なく他のウッドチップ舗装に比べ腐りにくいため長持ちし、自然と調和した風合いに仕上がります。

E-ソイルとは？ 日本の特産品であるが未利用資源である、杉と檜の樹皮に特有な不朽性、殺菌性等を利用した新しい多目的環境保全型建設資材です。



E-soil 大林式 樹皮舗装工法 特長

ナチュラルパース

1 クッション性に優れ滑りにくく、ひざにやさしい舗装

繊維状のE-ソイルが主原料なので空隙がうまれクッション性があります。

2 自然に溶け込む風合い

天然素材E-ソイルが主原料なので自然に溶け込む風合いです。

3 透水性に優れ、雨天でも水溜りができにくい

空隙があるので透水係数が高く速やかに浸透します。

4 流亡しにくい

雨が降っても流れにくくなります。

5 ヒートアイランド現象を緩和

保水力があり水が蒸発するときに熱が奪われ、気温が下がります。

ニーズ

- 公園などの園路、散策路、ジョギングコース
- 遊歩道、自然歩道、ハイキングコース
- キャンプ地、多目的広場
- 駐車場、ヘリポート
- 老人ホーム、学校、幼稚園、保育園などの構内通路、校庭、園庭
- 屋上庭園の園路舗装

種類は、下記のものがあります。 DATA データ

S ソフト (軟質) TYPE

| | | |
|--|---|---------|
| 透水係数(cm/sec) | 1.5~6.0×10 ⁻² (分析場所/鳥取県農業試験場) <small>(試験方法/土壌保全試験事業 土壌物性分析法 浸水法による)</small> | |
| 1m ² あたり湿潤重量(kg/m ²) | 土壌厚さ3cm | 土壌厚さ5cm |
| | 35~45 | 40~50 |
| <small>(分析場所/(株)ジャパン緑化)</small> | | |
| 土壌硬度(kg/cm ²) | 土壌厚さ3cm | 土壌厚さ5cm |
| | 20~35 | 10~20 |
| <small>(分析場所/(株)ジャパン緑化) (試験方法/山中式土壌硬度計による測定)</small> | | |

■用途/公園、遊歩道、施設の渡り廊下など

M ミディアム (半硬質) TYPE

| | | |
|--|---|---------|
| 透水係数(cm/sec) | 1.5~6.0×10 ⁻² (分析場所/鳥取県農業試験場) <small>(試験方法/土壌保全試験事業 土壌物性分析法 浸水法による)</small> | |
| 1m ² あたり湿潤重量(kg/m ²) | 土壌厚さ3cm | 土壌厚さ5cm |
| | 55~65 | 70~80 |
| <small>(分析場所/(株)ジャパン緑化)</small> | | |
| 土壌硬度(kg/cm ²) | 土壌厚さ3cm | 土壌厚さ5cm |
| | 35~50 | 20~35 |
| <small>(分析場所/(株)ジャパン緑化) (試験方法/山中式土壌硬度計による測定)</small> | | |

■用途/校庭、園庭など

H ハード (硬質) TYPE

| | | |
|--|---|---------|
| 透水係数(cm/sec) | 1.5~6.0×10 ⁻² (分析場所/鳥取県農業試験場) <small>(試験方法/土壌保全試験事業 土壌物性分析法 浸水法による)</small> | |
| 1m ² あたり湿潤重量(kg/m ²) | 土壌厚さ3cm | 土壌厚さ5cm |
| | 55~65 | 80~90 |
| <small>(分析場所/(株)ジャパン緑化)</small> | | |
| 土壌硬度(kg/cm ²) | 土壌厚さ3cm | 土壌厚さ5cm |
| | 45~65 | 35~55 |
| <small>(分析場所/(株)ジャパン緑化) (試験方法/山中式土壌硬度計による測定)</small> | | |

一軸圧縮強さ(kN/m²) 2000 (試験場所/(財)鳥取県建設技術センター)
(試験方法/日本工業規格「土の一軸圧縮試験方法」JIS A 1218(1998))

■用途/駐車場など

<http://www.japan-ryokka.co.jp>

地球にやさしい、循環型社会を目指して



JAPAN緑化

お問い合わせは